

陳情第63号	受理年月日	令和3年11月30日
付託委員会	教育文化委員会	
件名	学校給食における国産小麦の使用について	
<p>要 旨</p> <p>学校給食の原材料に使用している小麦を、下記の理由により、外国産から福岡県産小麦または国産小麦に変えていただきたい。</p> <p>たくさんの子供たちが、外国産小麦の給食を食べている。北九州市が、九州で先駆けて国産小麦給食を実施すれば、子育てしやすい町をさらに提唱でき、SDGsの項目から見ても当てはまるものが多い。</p> <p>記</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 日本の小麦の自給率は、カロリーベースで15%であるが、今、ほぼ100%を外国産小麦に頼っている学校給食の麦を、国産小麦に変えることで、自給率も上がる。 2 全国的に、米の消費量が下がっている。米農家の採算が合わない事態を避けるため、また、放棄されている田畑による猛獣被害の拡大を軽減するためにも、麦を植えるのはどうか。 3 外国産小麦には、主に、穀物を乾燥させるために収穫後に使われているグリホサートという農薬が多く残ったまま輸入、加工されているが、日本では使用が禁止されている。アメリカでは健康被害もあり、訴訟にもなっている。 4 主に、アメリカ、カナダから輸入されている小麦は、長距離の輸送により、たくさんの二酸化炭素が排出されている。 		